

→施行（1947年5月3日）

第2章 日本国憲法と民主政治

2 日本国憲法の基本原理

1 日本国憲法と三つの原理（教科書 p.64～65）

■ポイント

- ①大日本帝国憲法はどのような特徴をもっていたか。
- ②日本国憲法はどのように制定されたか。
- ③日本国憲法の三大原理とは何か。

明治憲法から日本国憲法へ [p.64]

[]（明治憲法）…欽定憲法，プロイセン憲法を手本
[]…立法・行政・司法などの統治権を総攬，**統帥権**の独立
[]…「法律の範囲内」で認められたが，**治安維持法**などによる制約

大正デモクラシー期

衆議院の地位向上

→政党内閣制＝「憲政の常道」

男子 [] **制度**の実現

軍部やファシズム勢力の台頭

五・一五事件，二・二六事件，第二次世界大戦へ

日本の降伏

[] 受諾（1945年）

連合国軍総司令部（GHQ），憲法改正を示唆

↓

日本政府案（松本案）＝明治憲法と類似

GHQ→マッカーサー草案を作成，日本政府に提示

帝国議会で審議・修正・可決

[] の公布（1946年11月3日）

日本国憲法の三大原理 [p.65]

① []

臣民の権利

→侵すことのできない永久の権利（第11，97条）

② []

天皇…統治権の総攬者から日本国の象徴（[] 第1条）へ

③ []

「平和のうちに生存する権利」（前文）

[]，[]，[]（第9条）